

第42回諜報研究会 2022年4月16日 ZOOMで開催

報告者 河野通之(NPO インテリジェンス研究所 理事)

テーマ「風船爆弾の活躍」

内容

(1) 風船爆弾情報に関する NPO の取り組み経緯

*1)2014年12月 元登戸研究所で明治大学と合同研究会実施

戦前日本の秘密戦の解明—新しい共同研究・発表活動のスタート

【第1セッション】

山田 朗 (明治大学文学部教授、明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

「陸軍の秘密戦における登戸研究所の役割」

山本 武利(NPO 法人インテリジェンス研究所理事長)

「陸軍中野学校誕生期分析 —1937, 8年に叢生した日本人インテリジェンス
ス工作人員養成機関」

【第2セッション】

明治大学平和教育登戸研究所資料館内と 生田キャンパス内登戸研究所関
連史跡 の見学

*2)2015年3月「明治大学生田キャンパス」

小林良生 x 山田朗(登戸研究所と風船爆弾・偽札)

小林先生:元通産省工業技術院四国工業技術研究所技術センター長)

。

(2) 爆弾に関する序論(Robert.C. Mikesh)

「ドゥーリトルによる1942年東京空襲」の衝撃

(3) 爆弾の概要

・爆弾開発と放流を可能にした

三つの環境対応複合技術と量産技術と組織づくり(今は不可能)

① 偏西風の発見・確認(高層気象観測技術)

林陽生氏報告 NPO 法人シティ・ウォッチ・スクエア

大石和三郎気象台長の発見)

② 球皮の開発と量産(風船制作の為の32工程のSPEC 他)

松井かおる学芸員報告(東京江戸博物館)

(山村文治氏の長女平塚悦子さんの通報(2005年)

③ 低温でのマイナス60度での自動高度制御技術

・畑 俊雄教授協力『複合材だ』

・陸軍と海軍との思惑

- (4) アメリカへの影響と評価(吉野興一氏著の風船爆弾より引用)
- ・ふ号の USA 到着第1報(1944年12月18朝日掲載;上海同盟)
 - ・風船爆弾落下分布(345機)
 - ・原子力プラント電線切った。(長崎投下の原爆3日遅らせた)
 - ・USA の被害
約4500億円(主に BC 対策 レーダー設置、飛行機、船舶増強)
(マンハッタン計画 10兆円)
 - ・爆弾到来を強制的に無視対策
- ・日本の爆弾経費
約75億円
- (5) 風船爆弾 言霊の国
詩人 白取省吾 早稲田卒
九十九里の東浪見の別荘から。
ニューヨークタイムズ6月2日号
に掲載アリ。
「もう少し続けていれば乾燥の季節が到来するのに・・・」
- (6) 国産の複合技術が
活かされ搭載された形で世界に向かって飛んでいる。

以上概略